



国場川河川改修事業



国場川水系 水と緑のネットワーク基本計画
 (平成18年11月)



国場川水系 水に親しむ川づくり整備構想
 (平成19年 3月)



生活環境・治水・自然共生ゾーン



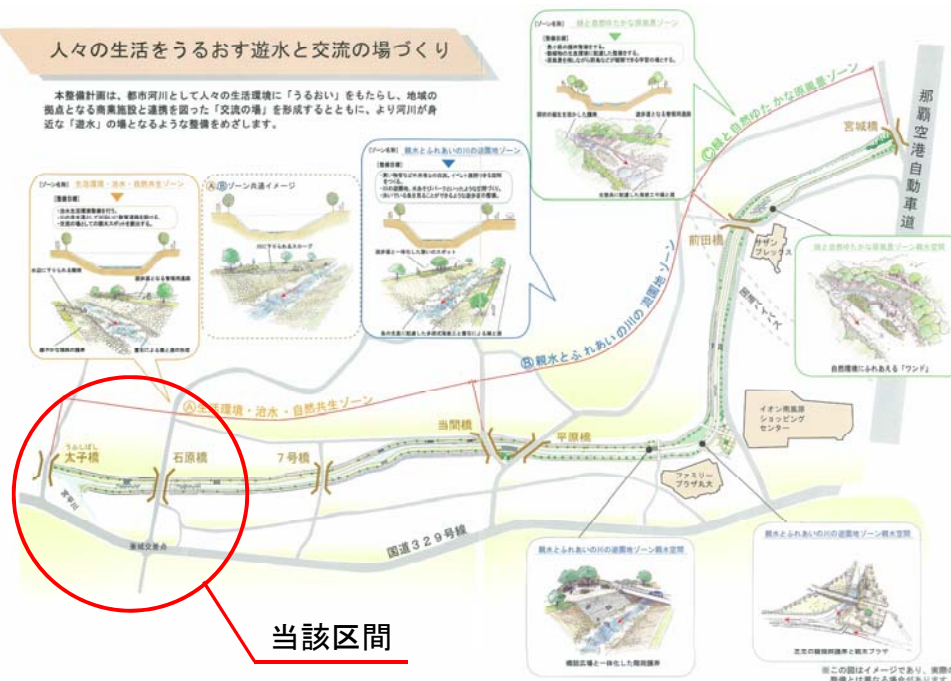
国場川ワークショップ「語やびら国場川」

平成17年度に計6回開催

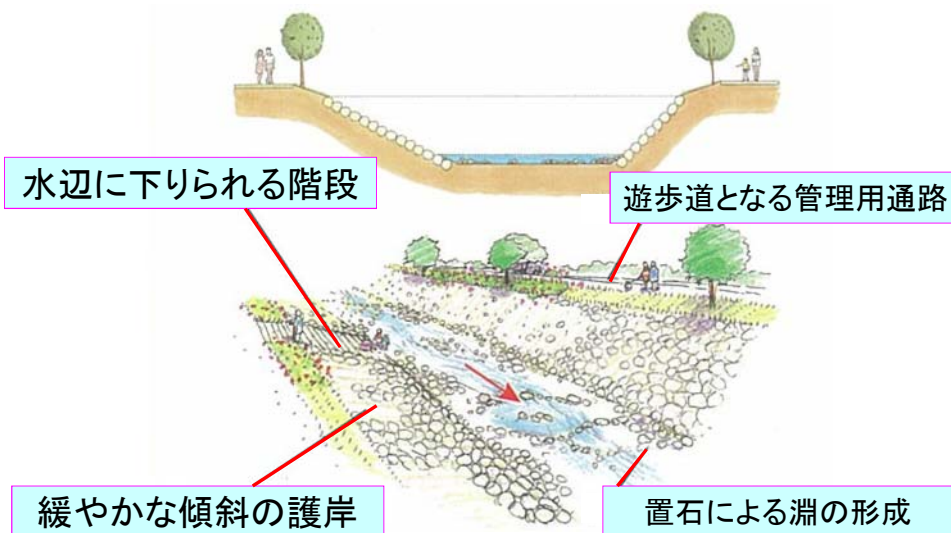
- ①生活環境整備に配慮した治水
- ②交流の場としての親水スポットの創出
- ③動植物の生息環境に配慮した整備
- ④人が遊び動植物の宝庫となる清流の再生
- ⑤地域に誇れる川づくり(利活用・維持も含めて)

人々の生活をうるおす遊水と交流の場づくり

本整備計画は、都市河川として人々の生活環境に「うるおい」をもたらし、地域の拠点となる商業施設と連携を図った「交流の場」を形成するとともに、より河川が身近な「遊水」の場となるような整備をめざします。



人々の生活をうるおす遊水と交流の場づくり



"結いの橋"リバーウォーク整備計画”整備前の状況

太子橋から上流を眺望



- 管理用通路はあるものの、隣接する商業施設と河川はフェンスによって分断された状況である。(左岸側)
- 既設護岸上の雑草が繁茂しており、周辺から川の様子がほとんど見えない状況である。(右岸側)

"結いの橋"リバーウォーク整備計画モデルプラン

- ・河床に下りられる階段工の整備
- ・太子橋上流の河床に近づける親水スポットの整備
- ・軽便橋の整備による地域に根ざした歴史学習。
- ・置石による淵の形成
- ・親水散策路と川沿いの緑陰樹の整備

9

河床に近づける階段の整備



緩やかな護岸に河床に近づけるような階段の設置を行う。飛石の設置。

軽便橋付近の親水テラス



河床へ向かう階段工からアプローチできる広い親水テラスを設ける。

軽便橋の整備による地域に根ざした歴史学習

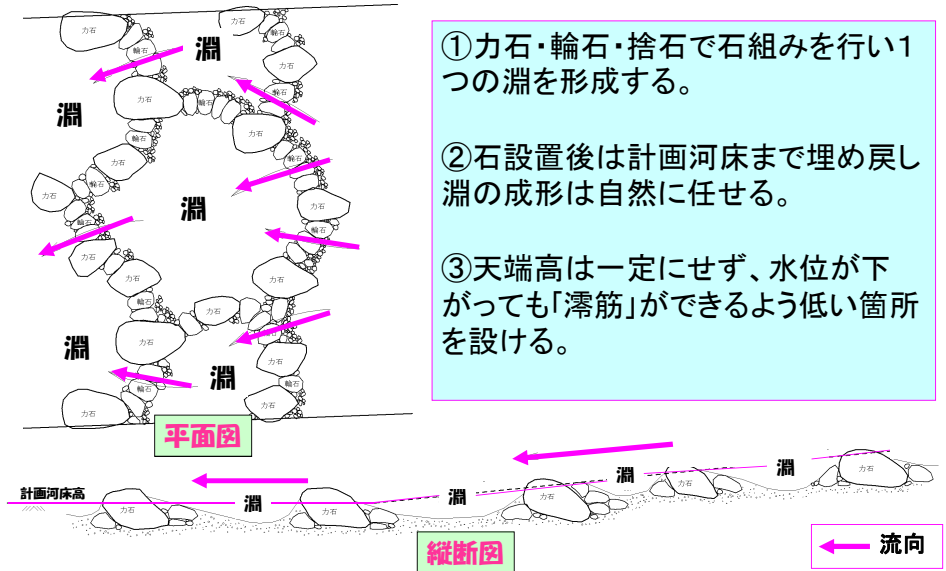


線路に見立てた人道橋を設置。
趣ある橋脚にするため橋脚をレンガ張りを行った。

石組み落差工



石組みによる淵の形成



植栽ボランティア活動の様子



- 平成22年度に太子橋下流部にて実施。
- 上流部については今後ボランティア活動を検討中。

動植物及び水質

水質階級	指 標 生 物			そ の 他 の 生 物
5 きれいな水 (貴重生物が生息する)	① ウズムシ類 ナミウズムシ	② サワガニ類 サカモトサワガニ	④ ブユ類 ヒロシマツノマユブユ	リュウキウウアユ (きれいでないとも住めない)
4 きれいな水	③ カワゲラ類 ノギカワゲラ類の一種	⑤ フタツメカワゲラ類の一種 コガタフタツメカワゲラ類の一種	⑥ ナガレトビゲラ類 ヤマトビゲラ類 ナガレトビゲラ類の一種 ⑦ ヒラタカゲロウ(風)類 ⑧ ヤマトクロスジヘトンボ	ヨシノボリ (けい流に多い) ホウソウゼ フナ

指標生物と水質階級



整備後の課題点

- 親水テラスや階段前に雑草が過剰に繁茂すると河床に近づきにくくなってしまう。
- バイクなど進入禁止車両が管理用通路へ頻繁に進入してしまう。
- 管理用通路の利用について、視覚障害者や電動車椅子利用者など社会的弱者への対応が難しい。
- 台風や河川の増水により落差工の破壊や変化の可能性はある。

17

国場川で観察された水辺の鳥類たち（1）

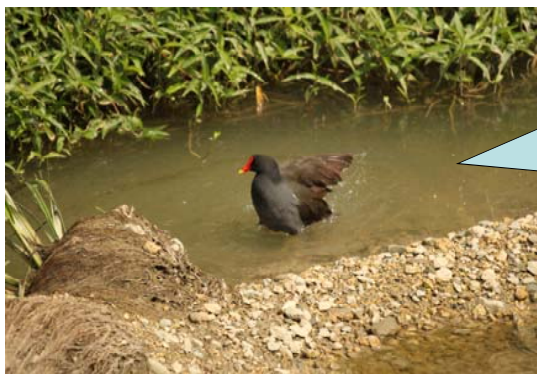


足で魚を捕獲し、
飛んで移動するタ
カの仲間ミサゴ

くちばしで器用に手
長エビをついばむコ
サギ



国場川で観察された水辺の鳥類たち（2）



淵で水浴びをするク
イナ科に属するバン

砂州内で羽を休める
日本で最も大きなサ
ギであるアオサギ



国場川で観察された水辺の鳥類たち（3）



護岸で羽を休めるイ
ソヒヨドリ

餌を求めて河川上空
で飛翔するアオサギ



～ご静聴ありがとうございました～

